



2024年3月28日

各 位

会 社 名 フジオーゼックス株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 辻本 敏
(コード番号 7299 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役執行役員 藤川 伸二
(TEL. 0537 - 35 - 5973)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2024年度から2026年度までの3年間を計画期間とする新たな中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2026中期経営計画が目指す姿

当社グループの事業の中心である自動車産業においては、急速な電動化やいわゆるCO₂排出問題(カーボンニュートラル)等の環境問題やバイオ燃料等の新エネルギー問題への対応といった大きな変革の局面にある一方で、足元では補助金の終了やインフラ等の問題で電気自動車の伸び率は鈍化傾向にあるなど、エンジン搭載車の長期的な需要動向は先行き不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、前中期経営計画(2021年度～2023年度)で掲げた『既存事業の収益力強化』と『新規事業の探索および育成』の両輪によって持続的な成長の実現を図ってまいりました。

2. 中期経営計画の概要

(1) 中期経営計画の基本方針

当社グループの更なる成長を目指し、3つの大きな課題に取り組んでまいります。

1点目は、自動車部品事業の安定収益確保であり、効率的な生産体制の追求により競争力を強化しつつ、グローバルシェアの拡大とグローバルでの最適生産体制の整備を実行してまいります。

2点目は、新規事業領域の育成と拡大であり、M&Aを行った企業を育成し、更なる拡大を図ると同時に自社の保有技術を活用した新規事業の立ち上げと育成も推進してまいります。

3点目は、効率経営推進による社会貢献であり、資本コストの改善や株価を意識した経営の実現、人的資本経営の推進、CO₂削減といった課題にも取り組み、ESG経営を実施してまいります。

【2026年中期経営計画基本方針】

- ① 自動車部品事業の安定収益確保
- ② 新規事業領域の育成および拡大
- ③ 効率経営推進による社会貢献

(2) 経営目標

経営指標 (2026年度)	売上高	280億円
	営業利益/率	28億円/10%
	当期純利益	20億円
投資 (3年間累計)	生産性向上投資	50億円
	新規事業投資	50億円
	合計	100億円
株主還元 (3年間平均)	総還元性向	40% (目安)
	株主資本配当率	1.7% (目安)
ESG指標 (2026年度)	事業活動に伴う CO ₂ 排出量	35%削減

(3) 重要施策

自動車部品事業 の安定収益確保	拡販活動	・日系自動車メーカーの海外拠点を中心とした拡販によるグローバルシェアの拡大
	原価低減	・生産性・品質向上、比例費低減 ・生産設備のリフレッシュ、段取りレス化、スマートライン化
	新技術開発	・カーボンニュートラル燃料普及対応 ・新しい製造技術の実用化
新規事業領域の 育成および拡大	成長分野への M&A投資	・M&A先企業の育成とシナジーが得られそうな分野への更なるM&A投資による拡大
	保有技術を活かした 事業開発	・保有技術の活用による新規事業の立ち上げと育成(3Dプリンター他)
	グループ全体の成長	・各グループ企業における新規事業領域の成長(農業、コンビニ、介護他)
効率経営推進に よる社会貢献	資本コスト・株価を 意識した経営の実現	・株価改善政策の実行 株式分割・株主優待制度の導入、株主還元目標の設定
	人的資本経営	・多様な人材の獲得・育成、エンゲージメントの向上
	カーボンニュートラル 推進	・再生可能エネルギーの導入・拡大、省エネ化推進

本中期経営計画の詳細につきましては、本日、当社ホームページに開示いたしますのでご参照ください。

以上



2026中期経営計画

フジオーゼックス（株）

2024年3月28日

東証STD

7299

1. 2023中期経営計画総括

2. 2026中期経営計画

(1) 事業環境認識

(2) 経営方針

(3) 経営目標

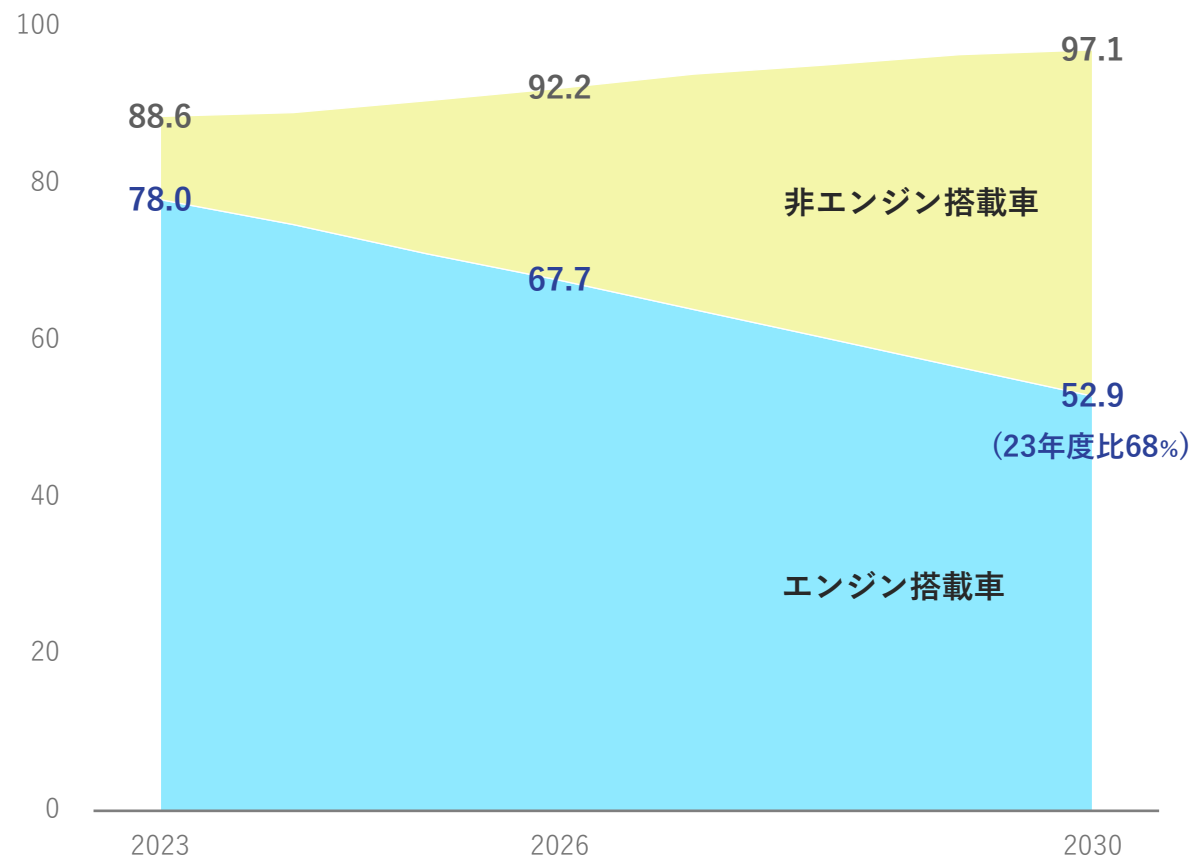
(4) 企業価値向上に向けた取り組み

進捗	「稼ぐ力」の強化	想定外の新型コロナウイルス感染症の拡大や半導体を始めとする部品不足の影響により業績目標は未達だが、 原価低減によって黒字を確保し、配当を継続実施
	新規事業開拓	長期的な内燃機関の減少を見据え、 新規事業開発中 （M&A 2件、3Dプリンター、関連各社新事業等）
	ESG経営の推進	SDGsと経営課題の関連付け⇒ CO₂排出量の削減 （2023年度に2013年度対比20%削減）、SDGsプロジェクト
課題	企業価値の向上	PBR、PER等の株価指標が低い⇒ 株式政策の実施、IRの強化により改善の途上

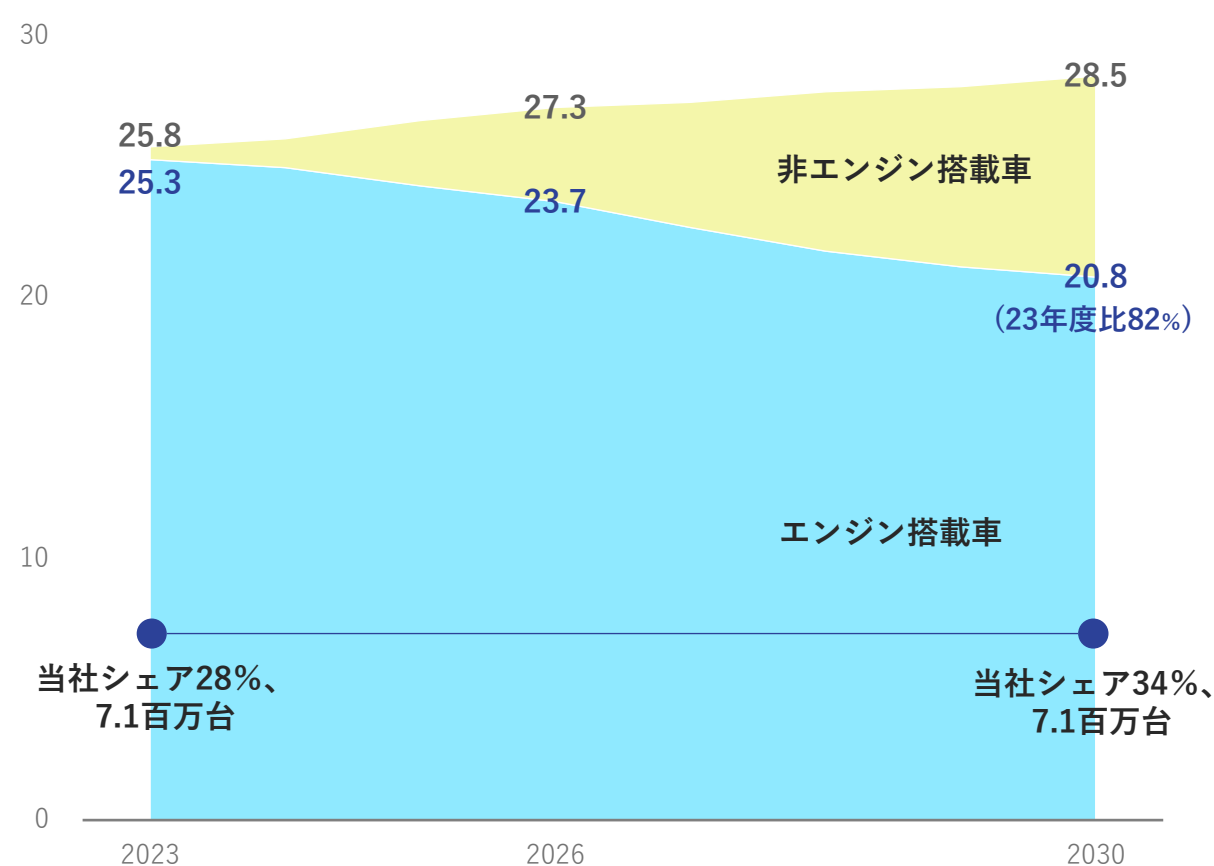
(百万円)	2021年度			2022年度			2023年度		
	中期目標	実績	達成度	中期目標	実績	達成度	中期目標	予想	達成度
売上高	23,000	22,269	96.8%	22,000	21,606	98.2%	23,000	23,350	101.5%
営業利益	2,200	1,571	71.4%	2,400	869	36.2%	2,700	1,800	66.7%
売上高営業利益率	9.6%	7.1%		10.9%	4.0%		11.7%	7.7%	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,350	985	73.0%	1,700	595	35.0%	1,900	1,950	102.6%
設備投資額	1,500	676	45.1%	2,000	1,683	84.1%	2,000	1,570	78.5%
配当性向	20%	27.1%	107.1%	30%	44.9%	114.9%	30%以上	(200円/株)	—

- 世界的な自動車のEV化は足元では補助金の終了やインフラ等の問題で伸び率は鈍化傾向
- 特に日系カーメーカーは遅延傾向にあり、エンジン市場が急速に縮小するために撤退を選択する海外サプライヤーに対し、日系を主体とする当社が受け皿となるには有利な状況

世界自動車販売想定 (百万台/年:当社想定)



日系自動車メーカー・世界販売想定 (百万台/年:当社想定)



前々中計
 2020中期経営計画 → 前中計
 2023中期経営計画 → 新中計
 2026中期経営計画

	前々中計 2020中期経営計画	前中計 2023中期経営計画	新中計 2026中期経営計画
収益基盤の確保	海外拠点と傘中空バルブへの投資と回収	既存事業の効率生産と拡販活動 高機能バルブ開発	拡販活動 原価低減 新技術開発
成長戦略	中空バルブの世界拡販	新規事業領域の開拓	成長分野へのM&A投資 保有技術を活かした事業開発 グループ全体の成長
効率的経営	(CSR向上) 監査等委員会設置会社への移行 ガバナンス委員会の設置	(ESG経営) 再生可能エネルギー導入によるCO ₂ 排出量削減 SDGsプロジェクト	資本コスト・株価を意識した経営 人的資本経営 カーボンニュートラル推進

OOZX GOALS 2030

(目指すべき姿)

The Best Survivor

グローバルシェア目標

8% ⇒ 12%

新規事業売上高目標

100億円

	前中計 2023中期経営計画	新中計 2026中期経営計画	~2030年度
売上高	234億円	280億円	300億円
営業利益	18億円 (7.8%)	28億円 (10.0%)	30億円 (10.0%)
CO ₂ 排出量	△20%	△35%	△50%

スローガン

将来の「The Best Survivor」を目指す事業構造改革

- － 既存事業の維持・拡大
- － 新規事業の成長・拡大

基本方針

I 自動車部品事業の安定収益確保

II 新規事業領域の育成および拡大

III 効率経営推進による社会貢献

自動車部品事業 の安定収益確保	拡販活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 日系自動車メーカーの海外拠点を中心とした拡販によるグローバルシェアの拡大
	原価低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産性・品質向上、比例費低減 ● 生産設備のリフレッシュ、段取りレス化、スマートライン化
	新技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ● カーボンニュートラル燃料普及対応 ● 新しい製造技術の実用化
新規事業領域の 育成及び拡大	成長分野へのM&A投資	<ul style="list-style-type: none"> ● M&A先企業の育成とシナジーが得られそうな分野への更なるM&A投資による拡大
	保有技術を活かした事業開発	<ul style="list-style-type: none"> ● 保有技術の活用による新規事業の立ち上げと育成（3Dプリンター他）
	グループ全体の成長	<ul style="list-style-type: none"> ● 各グループ企業における新規事業領域の成長（農業、コンビニ、介護他）
効率経営推進に よる社会貢献	資本コスト・株価を意識した経営の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 株価改善政策の実行 株式分割、株主優待制度の導入、株主還元目標の設定
	人的資本経営	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な人材の獲得・育成、エンゲージメントの向上
	カーボンニュートラル推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーの導入・拡大、省エネ化推進

経営指標 (2026年度)

売上高	280億円
営業利益/率	28億円/10%
当期純利益	20億円

投資 (3年間累計)

設備投資	50億円
成長投資	50億円
合計	100億円

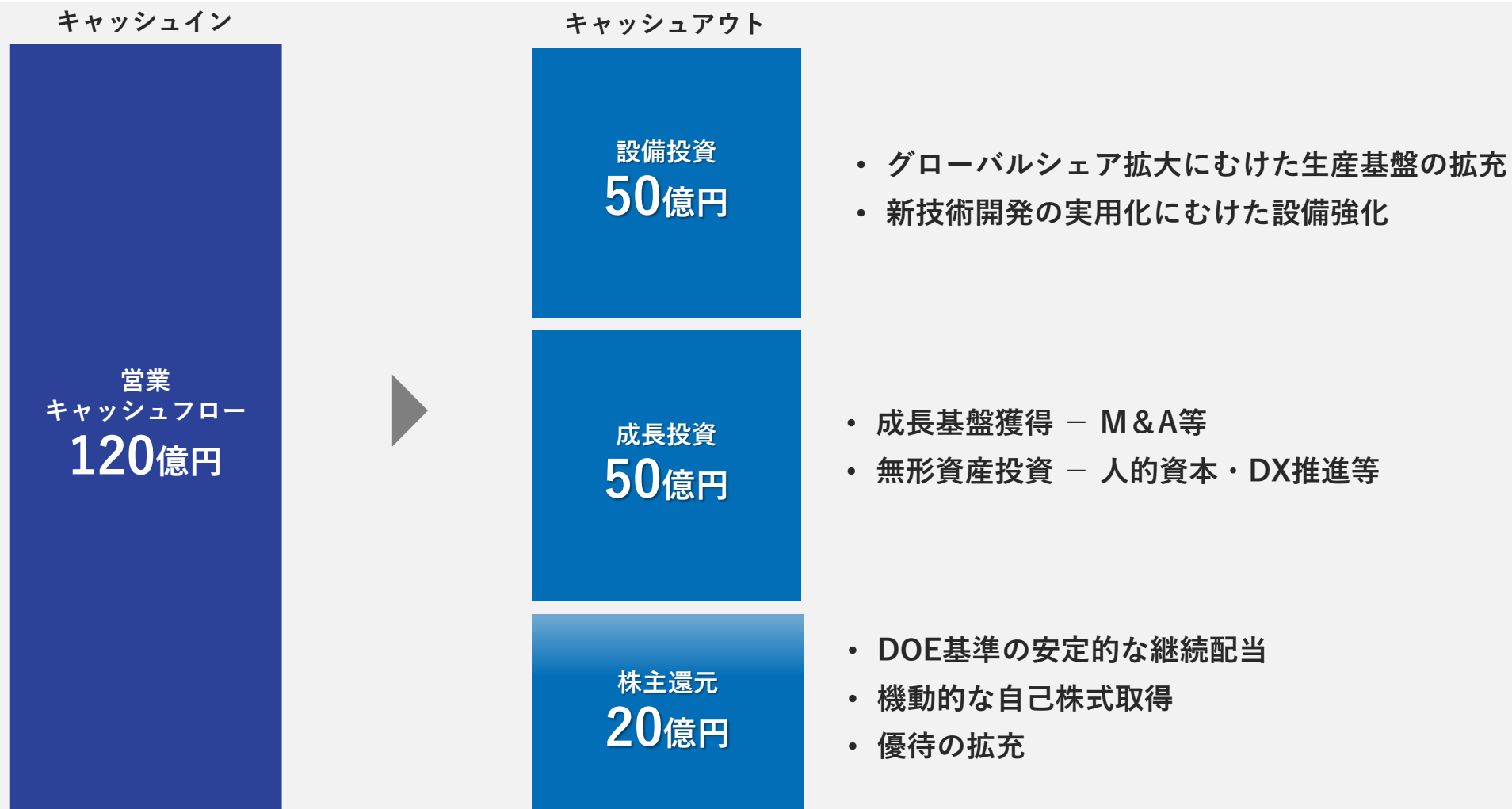
株主還元 (3年間平均)

総還元性向	40% (目安)
株主資本配当率	1.7% (目安)

ESG指標 (2026年度)

事業活動に伴うCO2排出量	35%削減
---------------	-------

－ 既存事業の維持・拡大、新規事業の成長・拡大、株主還元の強化に配分



売上高及び営業利益推移（連結ベース）

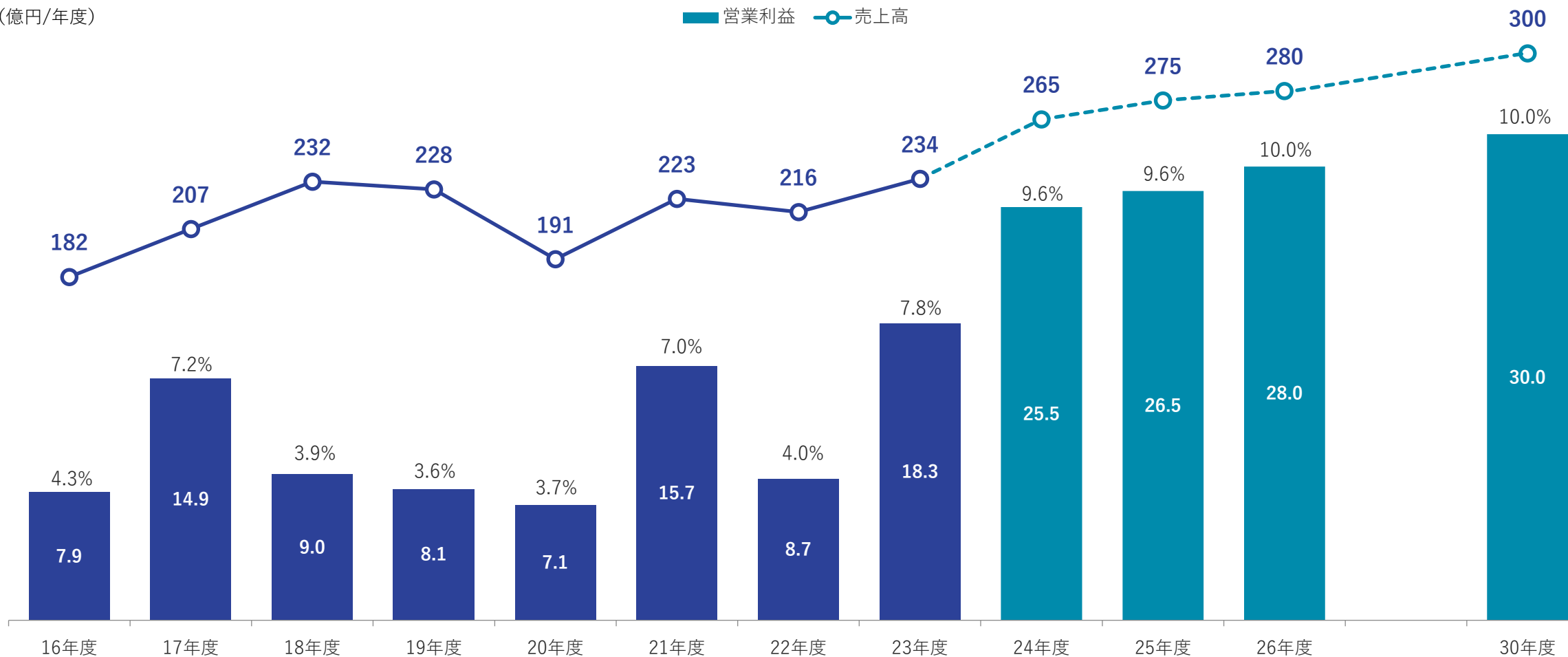
- 売上高営業利益率目標：10.0%
- グローバルシェア 23年度：8%⇒30年度：12%

過去最高

売上高	244.4億円	91年度
営業利益	27.4億円	05年度

(億円/年度)

■ 営業利益 ○ 売上高



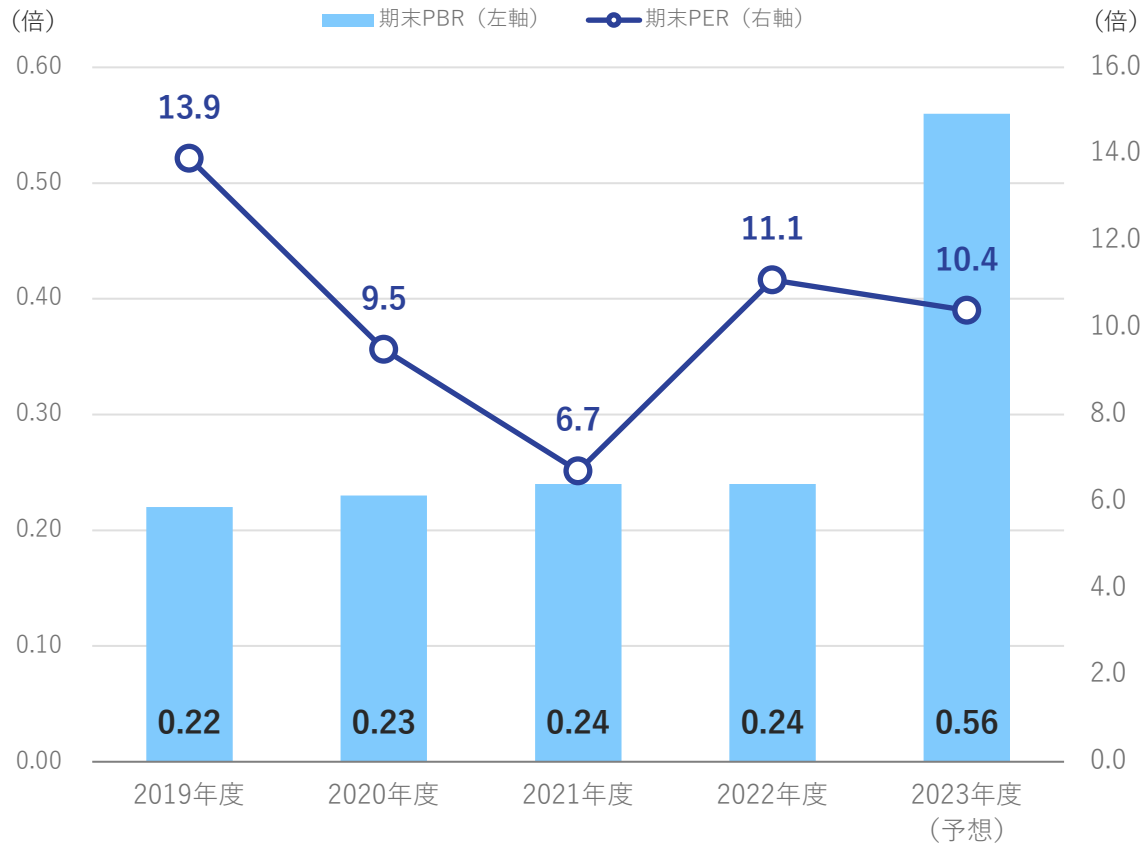
※21年度は決算期統一のため海外子会社は15ヵ月決算

株価改善の取り組み

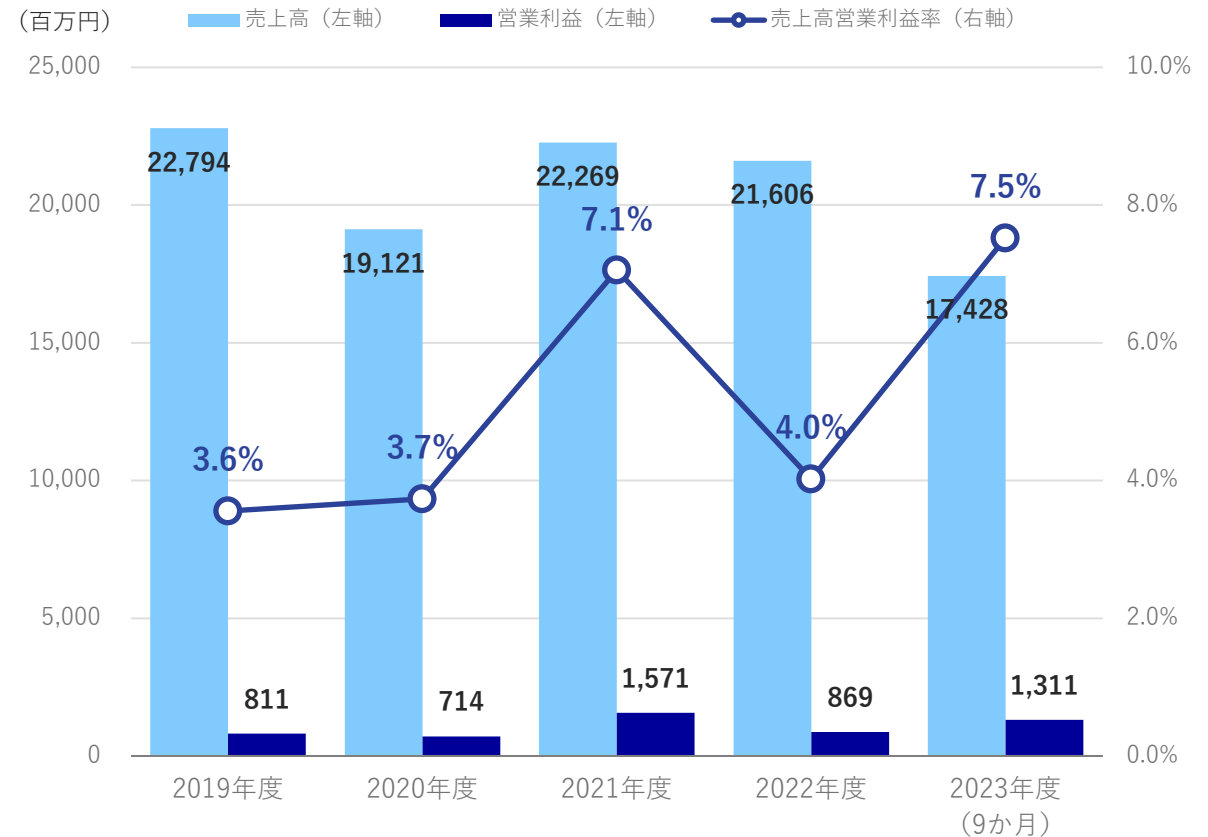
現状認識

- 業績面ではコロナ影響や半導体を始めとする部品供給不足等の影響により変動があるが、PBRはこれまで0.2倍台で推移
- 直近は業績回復や増配、株価対策の公表により0.5倍台まで上昇

PBR・PERの推移



業績の推移



※2024/3（予想）は株価7,960円（2/20終値）で算出

株価改善施策

I 株式分割の実施

- 投資単位引き下げにより、投資しやすい環境を整えることで幅広い世代に対して投資家層を拡大
- 分割比率：1：5 分割後投資単位：約16万円 効力発生日：2024年4月1日

II 株主優待制度の新設

- 投資魅力を高めることで、長期的な保有を促進
- 保有株式数に応じて2,000円～10,000円の商品券贈呈（初回：2025年6月贈呈予定）⇒更なる拡充を検討

III 株主還元方針

- 総還元性向40%、株主資本配当率（DOE）1.7%を目安とした株主還元の実施（配当+株主優待）
- 機動的な自己株式取得を検討（実施の場合は総還元に含まれる）

IV 株式報酬制度の導入の検討

- 役員を対象とした株式報酬制度の導入の検討

V 情報発信の充実

- 決算・中計説明会の開催、統合報告書の発行継続、ホームページ等による迅速な情報発信

本資料に記載されております業績の見通し等の数値につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しております。

今後発生する経営環境の変化等により実際の業績が大きく予想と異なる可能性がありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また、今後予告なしに見通し数値が変更されることがあります。本資料の情報の使用による結果について、弊社は何ら責任を負うものではございませんのでご了承下さい。

フジオーゼックス株式会社